

小学校再編に係る7つの案

	1案	2案	3案	4案	5案	6案	7案
概要	南中廃校、畷小存続 南小・東小統合校を南中敷地に建設 (教育環境整備計画から畷小廃校を除く)	南中廃校、畷小存続、南小・東小→畷小に統合	南中・南小・東小→南中敷地に義務教育学校または小中一貫校	南小、東小を廃校し、南小敷地に新小学校 (東小・南小統合) 南中廃校	将来の人口増を見据え、南小そのまま小規模のまま存続させ、東小学校は畷小に統合、南中廃校	南中・南小・東小を廃校し南小敷地に義務教育学校または小中一貫校	将来の人口増を見据え、南小、東小存続 南中再開校
ボンチ							
3つの課題	校舎の老朽化解消→○ 校区のねじれ解消→○ 小規模校解消 →○	校舎の老朽化解消→○ 校区のねじれ解消→○ 小規模校解消 →○	校舎の老朽化解消→○ 校区のねじれ解消→○ 小規模校解消 →×	校舎の老朽化解消→○ 校区のねじれ解消→○ 小規模校解消 →○	校舎の老朽化解消→○ 校区のねじれ解消→○ 小規模校解消 →×	校舎の老朽化解消→○ 校区のねじれ解消→○ 小規模校解消 →×	校舎の老朽化解消→○ 校区のねじれ解消→○ 小規模校解消 →×
校区	東小校区・南小校区→新小学校 中野本町は岡部小、西中へ 南中校区はすべて畷小校区へ	南小、東小が畷小に統合 南中校区はすべて畷小校区へ 中野本町は岡部小、西中へ	南小・東小校区は義務教育学校前期課程、南中校区は義務教育学校後期課程 中野本町は岡部小、西中へ	新小学校は現南小校区及び東小 中学校校区は四條畷中学校 中野本町は岡部小、西中へ	東小学校は、畷小校区に指定校変更 南小はそのまま存続 中野本町は岡部小、西中へ	南小・東小校区は義務教育学校前期課程、南中校区は義務教育学校後期課程 中野本町は岡部小、西中へ	現状どおり 南小、東小がそのまま
人数	新小学校学級数見込みは各学年2学級	畷小が大幅増加	実質の小規模校(ただし、国の基準を最低限満たす)	新小学校学級数見込みは各学年2学級	南小は小規模校のまま	実質の小規模校(ただし、国の基準を最低限満たす)	小規模校化の継続
H32年度学級数(見込み)	新小 2学級×6学年=12学級	畷小 4~5学級×6学年=27学級 →支援学級を含めると10教室を超える不足が見込まれる	義務教育学校 2学級×9学年=18学級	新小 2学級×6学年=12学級	南小 1学級×6学年=6学級 畷小 3~4学級×6学年=22学級 畷中 6~7学級×3学年=20学級	義務教育学校 2学級×9学年=18学級	南小 1学級×6学年=6学級 東小 1~2学級×6学年=8学級 南中 2学級×3学年=6学級
活断層調査	活断層を避けて新小学校新築		活断層を避けて義務教育学校又は小中一貫校新築				活断層を避けて南中を新築
劣化度診断	劣化度診断の状況評価においては、深刻な指摘は見当たらない。 学校施設において、改修を行った岡部小、畷中、西中以外の学校において、近々に改築、改修の対象となる。 より良い教育環境として望むこと ①安心・安全な校舎 ②教員の指導力 ③防災対策 ④通学距離 ⑤道徳教育 計画の目的で賛同できる順位 ①老朽化した校舎の改修 ②小規模校の解消 ③校区のねじれ解消 計画に対する不安に思うこと ①通学路の遠距離化 ②転籍による心理的負担 ③通学路の安全 ④転籍による家計への負担						
5,000人アンケート	劣化度診断の状況評価においては、深刻な指摘は見当たらない。 学校施設において、改修を行った岡部小、畷中、西中以外の学校において、近々に改築、改修の対象となる。 より良い教育環境として望むこと ①安心・安全な校舎 ②教員の指導力 ③防災対策 ④通学距離 ⑤道徳教育 計画の目的で賛同できる順位 ①老朽化した校舎の改修 ②小規模校の解消 ③校区のねじれ解消 計画に対する不安に思うこと ①通学路の遠距離化 ②転籍による心理的負担 ③通学路の安全 ④転籍による家計への負担						
メリット	・より身近な学校に通学できる ・過去からの学校間交流が活かせる ・3つの課題の解消につながる ・163号南側JR東側に小学校→防災拠点	・畷小において、多くの児童と接することからより自己を認める心の醸成や切磋琢磨できる場面が増える ・ソフト面、ハード面に及ぶ1校あたりに係る予算が拡充できる ・3つの課題解消につながる	・小中の段階解消 ・より身近な学校に通学できる ・163号南側JR東側に小中学校→防災拠点 ・ソフト面、ハード面に及ぶ1校あたりに係る予算が拡充できる	・過去からの学校間交流が活かせる ・教育センターとの連携がより図れる ・ソフト面、ハード面に及ぶ1校あたりに係る予算が拡充できる ・3つの課題解消につながる	・より身近な学校に通学できる ・ソフト面、ハード面に及ぶ1校あたりに係る予算が拡充できる ・工事が少ない ・小規模校としての特色が作れる	・小中の段階解消 ・より身近な学校に通学できる ・163号南側JR東側に小中学校→防災拠点 ・ソフト面、ハード面に及ぶ1校あたりに係る予算が拡充できる ・教育センターとの連携がより図れる	・より身近な学校に通学できる ・163号南側でJR東側に中学校→防災拠点
デメリット	・工事期間が長いため、しばらくの間、南小と東小の小規模校が続く ・活断層が学校敷地内にある児童の心的負担が続く	・現状より学校が遠くなる ・163号南側でJR東側に学校がなくなる	・南中校区の転籍 ・実質の小規模校の解消にならない ・教職員の免許について ・活断層が学校にある心的負担が続く	・東小から踏切を超えなければ通学できない ・通学路変更に伴う新たな安全対策が必要 ・東小校区は、畷小校区より遠くなる	・南小の将来について結論先送り ・当該地域の人口増加策が急務	・南中校区の転籍 ・実質の小規模校の解消にならない ・教職員の免許について ・運動場が狭小のため、体育の授業やクラブ活動に支障がある	・南中校区の転籍 ・小規模校の存続 ・老朽化対策の長期化 ・活断層が学校にある生徒の心的負担が続く
必要な工事	新小学校新築	畷小校舎新築	義務教育学校又は小中一貫校新築	南小校舎改修	畷小改修に加え増築工事	南小敷地に義務教育学校又は小中一貫校新築	南中新築、畷小、忍小、くすのき小、南小、東小改修工事
整備内容	校舎新築 体育館整備(新築) プール新築 フル新築 校庭貯留撤去新設 防犯拠点整備(マンホールトイレ) 防犯拠点整備(かまどベンチ) 防犯拠点整備(蓄電設備) 太陽光発電施設(蓄電設備) 既存校舎撤去(南中) 既存体育館撤去(南中) 既存プール撤去(南中) 門、フェンスの改修	校舎棟新築(南小・東小分必要面積追加) 体育館整備(新築) プール新築 フル新築 防犯拠点整備(マンホールトイレ) 防犯拠点整備(かまどベンチ) 太陽光発電施設(蓄電設備) 既存校舎撤去(畷小) 既存体育館撤去(畷小) 既存体育館撤去(南中) 既存プール撤去(畷小) 門、フェンスの改修	校舎新築(義務教育学校) 体育館整備(新築) プール新築 フル新築 校庭貯留撤去新設 防犯拠点整備(マンホールトイレ) 防犯拠点整備(かまどベンチ) 太陽光発電施設(蓄電設備) 既存校舎撤去(南中) 既存体育館撤去(南中) 既存プール撤去(南中) 門、フェンスの改修	校舎改修工事 フル新築 防犯拠点整備(マンホールトイレ) 防犯拠点整備(かまどベンチ) 太陽光発電施設(蓄電設備) 既存プール撤去(南小) 門、フェンスの改修	(校舎棟増築(畷中小中連携棟同規模)) (渡り廊下設置) 校舎の老朽化対策(大規模改修) トイレ改修 照明LED化 ICT環境整備 空調設備の導入 プール新設 防犯拠点整備(マンホールトイレ) 防犯拠点整備(かまどベンチ) 太陽光発電施設(蓄電設備) 既存プール撤去(南小) 門、フェンスの改修	校舎新築 体育館整備(新築) プール新築 フル新築 校舎の老朽化対策(大規模改修) 防犯拠点整備(マンホールトイレ) 防犯拠点整備(かまどベンチ) 太陽光発電施設(蓄電設備) 既存校舎撤去(南小) 既存体育館撤去(南小) 既存プール撤去(南小) 門、フェンスの改修	【南中新築40.9億円+南小改修7.9億円+忍小8.5億円+くすのき小9.5億円+東小改修8.5億円+畷小9.2億円 = 85.5億円】
概算整備費用(税込10%・設計監理費込) ※H31建築計画引用	新小学校新築35.2億円 【35.2億円+畷小9.2億円+忍小8.5億円+くすのき小9.5億円 = 62.4億円】	畷小新築35.4億円+仮設校舎10億円=45.4億円 【45.4億円+忍小8.5億円+くすのき小9.5億円 = 63.4億円】	義務教育学校新築52.7億円 【52.7億円+畷小9.2億円+忍小8.5億円+くすのき小9.5億円 = 79.9億円】	南小改修7.9億円 【7.9億円+畷小9.2億円+忍小8.5億円+くすのき小9.5億円 = 35.1億円】	南小改修7.9億円+畷小増築4.2億円=12.1億円 【12.1億円+畷小9.2億円+忍小8.5億円+くすのき小9.5億円 = 39.3億円】	義務教育学校新築48.1億円+仮設校舎10億円=58.1億円 【58.1億円+畷小9.2億円+忍小8.5億円+くすのき小9.5億円 = 85.3億円】	【南中新築40.9億円+南小改修7.9億円+忍小8.5億円+くすのき小9.5億円+東小改修8.5億円+畷小9.2億円 = 84.5億円】 ※東小大規模改修を忍小大規模改修と同程度と想定

参考資料1
畷小、忍小、くすのき小

校舎の老朽化対策
トイレ改修
プールの改築(新築)
ICT環境整備
空調設備の導入
LED照明
防犯拠点整備(マンホールトイレ)
防犯拠点整備(かまどベンチ)
太陽光発電施設(蓄電設備)
門、フェンスの改修
既存プール撤去

◆概算整備費⇒9.2億円

四條畷小学校 大規模改修

校舎の老朽化対策
トイレ改修
プールの改築(新築)
ICT環境整備
空調設備の導入
LED照明
体育館の老朽化対策
非構造部材
防犯拠点整備(マンホールトイレ)
防犯拠点整備(かまどベンチ)
太陽光発電施設(蓄電設備)
門、フェンスの改修
歩道橋改修
既存プール撤去

◆概算整備費⇒8.5億円

忍ヶ丘小学校 大規模改修

校舎の老朽化対策
プールの改築(新築)
非構造部材
トイレ改修(和式便器⇒洋式便器)
ICT環境整備
空調設備の導入
LED照明
防犯拠点整備(マンホールトイレ)
防犯拠点整備(かまどベンチ)
太陽光発電施設(蓄電設備)
門、フェンスの改修
既存プール撤去

◆概算整備費⇒9.5億円

くすのき小学校 大規模改修

校舎の老朽化対策
プールの改築(新築)
非構造部材
トイレ改修(和式便器⇒洋式便器)
ICT環境整備
空調設備の導入
LED照明
防犯拠点整備(マンホールトイレ)
防犯拠点整備(かまどベンチ)
太陽光発電施設(蓄電設備)
門、フェンスの改修
既存プール撤去

◆概算整備費⇒9.5億円

参考資料2
2、6案の際、仮設校舎建設の想定

2案では四條畷小学校、6案では義務教育学校又は小中一貫校に仮設校舎

現グラウンドに仮設校舎を建設
リース契約を想定
リース期間は2~3年

参考資料3
7案の整理

案	南中敷地利用	南中敷地利用しない	南中再開校	南小、東小そのまま存続
1	新小学校(東小+南小)			
3	義務教育学校(南中+東小+南小)			
2		南小、東小→畷小に統合		
4		新小学校(東小+南小)		
5		南小存続、東小を畷小に統合		
6		義務教育学校 (南中+東小+南小)		
7			南中再開校	

参考資料4
小規模校の定義

小中学校ともに、学校教育法施行規則により、『学校の学級数は、12学級以上18学級以下』が標準とされる。このことから、12学級未満の学校を小規模校とする。

畷小・忍小・くすのき小 整備費合計 ⇒ 27.2億円